

3 産業被害（推計額）及び公共土木施設被害（平成23年7月25日現在）		
産業被害 (推計額)	農業被害	589億円
	林業被害	250億円
	水産業・漁港被害	3,587億円
	工業（製造業）被害	890億円
	商業（小売・卸売業）被害	445億円
	観光業（宿泊施設）被害	326億円
	計	6,087億円
公共土木 施設被害	河川・海岸・道路等施設整備	1,723億円
	都市・公園施設被害	405億円
	港湾関係施設被害	445億円
	計	2,573億円

出典：岩手県災害対策本部調べ

4 資本ストックの被害推計（参考）							
	資本ストック A	推定資本ストック被害額				合計 B	被害率 B/A
		生活・ 社会インフラ	住宅	製造業	その他		
内陸部	26,369	457	22	64	211	754	2.9%
沿岸部	7,449	1,943	607	191	781	3,522	47.3%
合計	33,818	2,400	629	255	992	4,276	12.6%

出典：株式会社日本政策投資銀行推計

5 ライフライン被害の概要		
区分	最大被害状況	復旧状況
停電	約76万戸	復旧完了(5/28復旧)
ガス供給停止	約9千4百戸	供給停止なし(4/26復旧)
断水	約18万戸	復旧完了(7/12復旧完了)
電話不通	約6万6千回線	サービス中断中の通信ビルなし (4/17復旧)※

※加入者宅と通信ビル間の回線切断等により、利用できない場合がある。

出典：岩手県災害対策本部調べ



1 岩手県立図書館の歩み（抜粋）

大正 10. 10. 10 岩手県立図書館設置文部大臣認可

11. 19 原敬氏より図書購入費として1万円寄贈

12. 24 岩手県立図書館則制定

11. 3. 9 建設工事完成

4. 20 開館（職員10名、蔵書15,451冊）

昭和 43. 2. 10 新館開館式（職員26名、蔵書147,567冊）

平成 18. 4. 1 指定管理者制度導入 新館一部開館

18. 5. 8 新館全面開館（職員11名、指定管理者40名、蔵書62万5千冊）

21. 4. 1 指定管理者制度第二期スタート



2 岩手県立図書館の概要（抜粋）

住所：盛岡市盛岡駅西通1-7-1

項目	新館	旧館
1 建物及び図書館の運営体制	複合施設(7フロア) 単独館 直営で、一部業務を7フロアの指定管理者へ委託	直営
2 開館日	年間約340日 (約1.2倍)	年間約290日
3 開館時間	全日9:00～20:00 平日9:00～19:00 土日9:30～17:00	
4 総面積	10,590m ² (約3倍)	3,659m ²
5 開覧席数	343席 (約2.6倍)	130席
6 入館者数（年間）	50万人超 (約2倍)	約27万人 (平成16年度)
7 蔵書数	681,946冊 (平成22年度末)	593,919冊 (平成16年度末)
8 収藏能力	153.5万冊 (約3.8倍)	41万冊

（注力している業務）

- 1 デジタルアーカイブ事業
- 2 ビジネス支援（平成22年11月1日～）
→コーナーに相談員を配置（3名採用）
- 3 震災関連資料コーナー設置
(平成23年10月21日～)

2 岩手県立図書館の被害概況等



岩手県立図書館の被害概況

主な被害状況

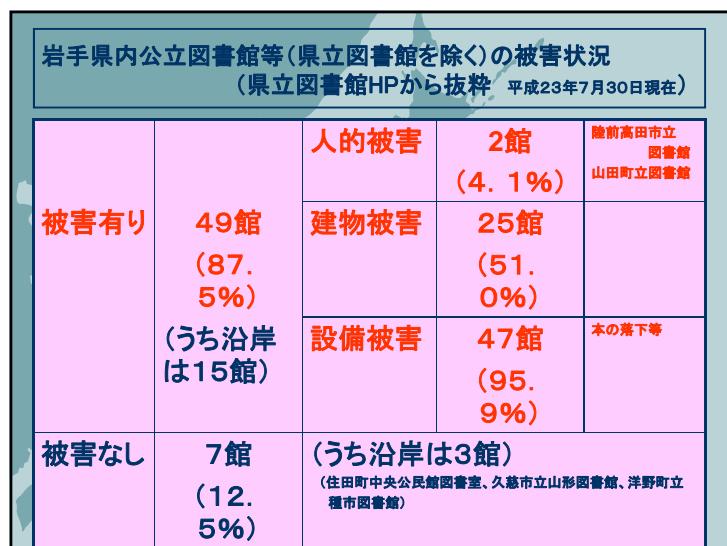
- ・図書、ビデオ等約1割の資料落下
- ・図書情報システム障害
- ・書架固定ボルト緩み

開館状況

- ・～3月31日 休館
- ・4月1日～ 時間短縮して開館
- ・4月8～9日 余震による停電のため休館
- ・4月14日～ 通常開館




● 図書館
○ 図書館分室
△ 図書館分室
▲ 公民館図書室等





大槌町

まちの状況

町長以下町職員 32 人死亡

図書館職員

職員の機転により全員無事

図書館の状況

まちの復興優先により図書館職員 0 の状態（館長のみ）

大槌町立図書館の建物内部

大槌町役場の建物

大槌町立図書館の建物





野田村立図書館



野田村

まちの状況

村全体が被災、全壊 300 棟以上

図書館職員

全員無事

図書館の状況

現在の場所への再建を検討中

野田村内の様子

野田村図書館外観

図書館



野田村図書館内部



(参考) 壊滅状態の公民館図書室の状況～大船渡市三陸町

大船渡市三陸町中央公民館図書室

正面玄関

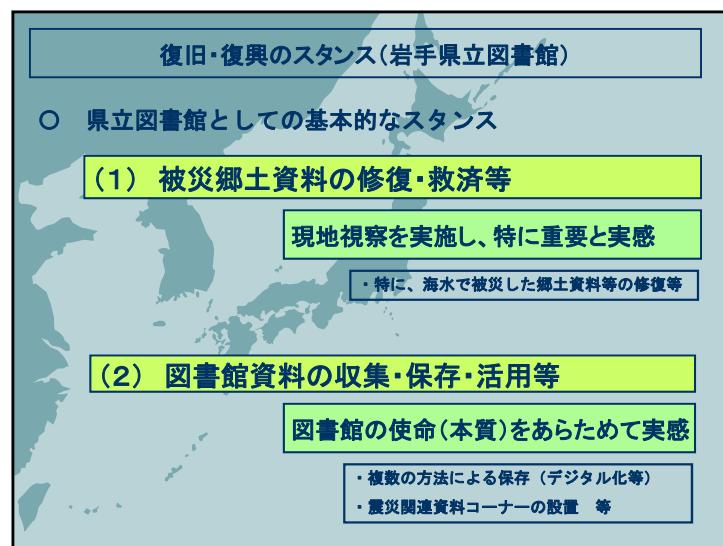
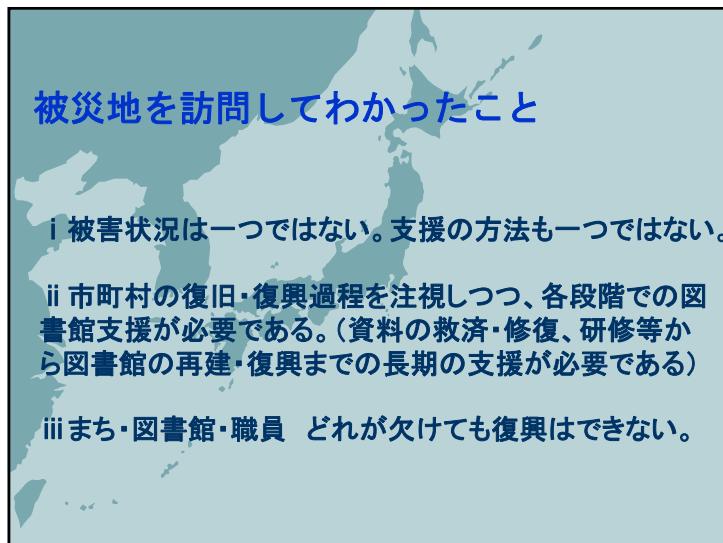
図書室からの海の眺望 海

図書室内部

玄関内部入口付近の書類・冊子等





被災地・被災者支援一覧（震災以降～）

1 インターネットを通じた震災関連情報の提供	岩手県立図書館HPに掲載
2 被災者への資料貸出	利用者登録手続きの簡略化等
3 被災資料への対応	被災資料届出手続きの簡略化
4 県内市町村図書館等への運営支援	訪問し、状況把握した上での支援等
5 避難所等での読み聞かせ	子ども向けの読み聞かせ
6 被災地へのレンタルサービス	県内外からの受付
7 関係機関・団体等との連携	国立国会図書館等との連携支援等
8 地震・津波・原子力発電関連資料の展示紹介	図書館3階入口付近で展示

被災地・被災者支援一覧（23.8.27～）

9 震災関連資料の収集（寄贈依頼）

震災の記録を県立図書館に

△下記の資料を発行されましたら、3部ご寄贈ください。
△寄贈方法は、原則ご持参いただくか、郵送をお願いします。

岩手県立図書館では、震災の記録を風化させることなく後世に引継ぐため、下記の震災関連資料の収集に取り組んでいます。

- 震災関連の記録集、写真集(視聴覚資料も含む)など
- 震災に関する調査報告書・復興に関する計画書など
- 震災関連のイベント・セミナー・相談会等のチラシ配布資料など
- 個人・団体が作成した手記・文集など
- 各種の活動記録(ボランティア関係資料、避難所だより)など
- 震災に関わる内容のフリーペーパー、ミニコミ誌、チラシなど

※詳しくは当館ホームページをご覧ください。

岩手県内公立図書館等の現在の状況(県立図書館を除く)		
平成23年10月4日現在		
県北	開館中 (38施設)	盛岡市立図書館 一関市立一関図書館ほか
県央		
県南		
沿岸 (18 施 設)	壊滅状態 (3施設)	陸前高田市立図書館 大槌町立図書館 ※23.8.20仮設住宅近くにある集会所を買って図書館業務再開 野田村立図書館
	開館の見通しが立たない (1施設)	山田町立図書館
	設備の破損により資料が被災 等し一部業務で開館 (1施設)	釜石市立図書館
	開館中 (部分開館含む) (13施設)	大船渡市立図書館 岩泉町立図書館 久慈市立図書館 アドバイザリーライブ図書館(田野畠)ほか

具体的な支援の概況～(1)陸前高田市関連

H23.5.23 **被災した岩手県指定文化財「吉田家文書」の解読作業再開に向け、県立図書館所蔵の当該資料のマイクロフィルムを無償で複写し、陸前高田古文書研究会へ提供するため現地入り。**

同時に現在の陸前高田市立図書館の状況について同市教育委員会から事情を聴取した。

【県立図書館の支援】

- ①「吉田家文書」の複写の無償提供支援(延べ8回)
- ②被災した陸前高田市立図書館内の地域の写真の仕分け作業支援(H23.5.25実施～2名参加)

「吉田家文書」複写無償提供一覧(県立図書館による)				
提供年月日	提供複写文書	提供先	解読者	枚数
H23.5.23	慶応4年	陸前高田古文書研究会	陸前高田古文書研究会	551
H23.6.14	慶応3年	岩手古文書学会	岩手古文書学会	349
H23.7.12	慶応2年	"	"	345
"	慶応元年	"	"	343
H23.7.21	文久4年	陸前高田市教育委員会	陸前高田古文書研究会	420
H23.8.18	文久3年	個人(盛岡市)	個人(盛岡市)	402
H23.9.6	文久2年	陸前高田古文書研究会	陸前高田古文書研究会	498
"	文久元年	"	"	436
計				3,344

具体的な支援の概況~(2)野田村関連		
H23.5.30	修復、優先的に保存の必要性のある資料の仕分け、	
~6.2	修復作業を行うとともに、各地から寄せられた寄贈図書約1万6千冊の仕分け作業を行った。	
国立国会図書館	+	近隣の市町村図書館職員
県立図書館 (県+指定管理者)		
		

寄贈図書仕分け等の参加人員等(野田村)				
	5月30日(月) 13:00~16:00	5月31日(火) 10:00~16:00	6月1日(水) 10:00~16:00	6月2日(木) 10:00~16:00
国立国会図書館 (収集書誌部)	1名 寄贈図書仕分	1名 被災資料仕分他	1名 資料除塵 清掃指導他	1名 保存容器 収納指導他
岩手県	2名 寄贈図書仕分	2名 寄贈図書仕分	1名 寄贈図書仕分他	3名 寄贈図書仕分他
T R C	2名 寄贈図書仕分	2名 寄贈図書仕分	2名 寄贈図書仕分他	4名 寄贈図書仕分他
市町村 (図書館)	久慈市 2名 寄贈図書仕分	2名 寄贈図書仕分他	2名 資料除塵 清掃他	2名 資料除塵 清掃他
	久慈市山形		2名 寄贈図書仕分	
	洋野町種市	1名 寄贈図書仕分	2名 被災資料仕分他	1名 資料除塵 清掃他
	洋野町大野		1名 寄贈図書仕分	
	普代村		1名 寄贈図書仕分	1名 寄贈図書仕分他
合計	8名	13名	10名	11名

野田村郷土資料の本格処置について(平成23年10月27日現在)		
I 必要性		
塩水に浸かった資料は塩抜き、水洗いの本格修復処置が望ましいという専門家の意見もあることから、今後は、国立国会図書館で本格的な修復を実施する必要性があること。←前提として、岩手県立図書館、久慈市、洋野町、普代村の近隣図書館ネットワークの尽力等があること。		
II 時期		
平成23年11月中旬から平成24年2月まで		
III 手続き (241被災郷土資料を申請し、状態の良いもの等を除き130点に決定)		
岩手県野田村→岩手県教育委員会→文化庁(被災文化財等救援委員会) (本格的な修復作業は国立国会図書館)		
(参考) 東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援事業(文化財レスキュー事業)実施要項 (略)		
3 事業の対象物		
国、地方の指定等の有無を問わず、当面、絵画、彫刻、工芸品、書跡、典籍、古文書、考古資料、歴史資料、有形民俗文化財等の動産文化財及び美術品を中心とする。		
(以下、略)		

具体的な支援の概況～(3)その他の市町村関連等(23.9.14現在)	
図書館名	主な支援策（予定も含む）
陸前高田市立	BM（移動図書館車）の近隣市町村等からの支援の調整 大人向け実用書（家事、趣味、旅行等）の寄贈支援ほか
大槌町立	BMの近隣市町村等からの支援の調整（流沢村の図書館は8月まで、その後、花巻市の図書館が9月から12月まで支援予定） 寄贈図書の整理に係る参考リスト表送信支援 システム化支援ほか
野田村立	BMの近隣市町村等からの支援の調整（久慈と洋野町立種市の図書館が場所によって期間が違うが、7月から24年3月まで） 寄贈図書仕分け支援（2回）ほか
宮古市立	セット貸出（岩手の図書館員おすすめの児童書貸出）
山田町立	BMの北上市立中央図書館からの支援の調整 システム化支援、団体貸出ほか
アスピリ楽習センター（田野畠村）	開館前における寄贈図書の本棚への配架等に係る人的支援ほか (7月12日、22日→開館は7月26日) 開架資料選定支援（9月15日）ほか
岩泉町立	読み聞かせ（7/22小本保育園）、団体貸出（大量・長期の貸出） セット貸出（岩手の図書館員おすすめの児童書貸出）

具体的な支援の概況～(4)研修関連							
○ 研修会の開催（被災に係る主なもの）							
月	研修名	内容	対象者	場所	日時	日程	主催
7	初任職員研修会	・県内の被災状況と復興状況他	経験3年未満	県立図書館	7/7～8	2日間	県図書館協会
	専門研修① (講師：国立国会図書館)	・図書の修復等	公立図書館職員等	県立図書館	7/28	1日	県立図書館
9	専門研修② (講師：国立国会図書館)	・ビジネス支援に関するレファレンスツールの紹介等	公立図書館職員等	県立総合教育センター	9/22→11/1へ (台風による)	1日	県立図書館
	図書館職員・図書館協議会委員合同研修（講師：根本東大大学院教授）	・災害を通して考える図書館の本質ほか	図書館職員、協議会委員等	アイーナ	10/21	1日	県図書館協会
11～12	専門研修③ (講師：紙本保存修復士) 新任図書館長等研修会	I 紙料の初期救済等 (予防を含む) II 本の治療	公立図書館職員等	県立図書館	I 11/17 II 11/18	2日間	県立図書館
		・管理・運営他	1年未満の館長	県立図書館他	11/29～12/2	4日間	文科省

